

平成30年度

常盤会总会

平成30年9月2日(日)

敬創策 校訓 愛造和

終るのではない

はじまるのだ

生きているかぎりいつでもどこでもそこで終るということはない

生きているかぎり

いつでもどこでもそこから始まることができる

若者に過去はない

若者にあるのは

常に現在ただいまと未来だけだ

一生懸命生きろ

力いっぱい生きろ

己を信じて精いっぱい生きてきたことに喜びと誇りを感じる日がきつとくる

必ずくる

その日まで

黙って歩け

裏表紙の言葉について

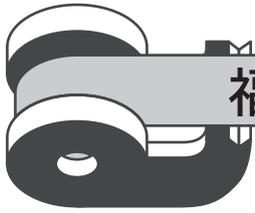
故 38回生恩師 和田英樹先生

(熊本大学応援団OB会「会長あいさつ」より)

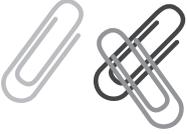
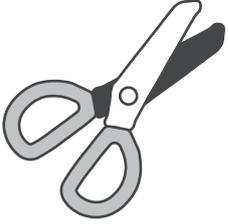
表紙題字・裏表紙言葉揮毫

38回生恩師 棚田看山先生





福岡県立京都高等学校常磐会総会誌目次

校歌(高女・高校)	01	
常磐会会長挨拶	02	
京都高等学校校長挨拶	03	
実行委員長挨拶	04	
記念事業	05	
常磐会総会イベント実績	06	
常磐会会則	07	
歴代会長・校長	08	
常磐会本部役員名簿	09	
職員一覧	10	
進路概況	11	
部活動活動状況	12	
定時制職員一覧・近況報告	13	
恩師からのおたより	14	
卒業生からのおたより	20	
思い出のアルバム	26	
協力回生のつどい	34	
協賛広告	35	
索引	75	
実行委員会組織図	79	



京都高等女学校校歌

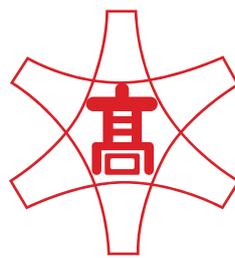


古鏡を表す銀台に七宝で隸書の「京女」を打ち出す。京女を松葉になぞらえ、「常磐」の意味を象徴している。

作詞 小川直熙
作曲 新清次郎

一、京都を名に負う 学の窓に
常磐の契りを 結べる友よ
みくにの前途の 運命を擔ふ
母こそわれらぞ 使命は重し
雅に優しく かざりをいとひ
まごころこめつ、いそしみつとめ
四年の教訓を心に秘めて
母校のほまれを伝へむ永遠に
みやこ みやこ
われらの みやこ

二、英彦の高嶺のこごしき坂を
書籍よむわれの 訓と仰ぎ
周防の大灘 たたふる水の
清きを貞操の 鏡とあがめ
からだをきたへて 皇国につくし
平和の使と 雄々しく立たむ
かくてぞひろがる 母校の誉
いざ声そろえて たたえむその名
みやこ みやこ
われらの みやこ



「京」の字を表す構図の中心に「高」の文字を白く浮き上がらせたもの。

京都高等学校校歌

福井直秋 作曲
島田芳文 作詞

一、風薫る 若き世紀の 朝ぼらけ
揺がぬ姿 英彦山
学びの窓に 仰ぎ見て
ここに誓いし 若人われら
文化の京都 その名もゆかし
ああ躍進の わが母校

二、水清き 尽きぬ流れの 今川の
たゆまず注ぐ 周防灘
真理の深さ 究めつつ
ここに競わん われらが腕
希望は芽えて 聖火は燃ゆる
ああ新興の 意気昂し

三、天地の 恵み豊かに 野に充ちて
夕陽に映ゆる 平尾台
聞け遙かなる 自治の鐘
ここに築かん 理想の庭を
友愛清く 華吹き乱る
ああ青春の この三歳

四、爽やかに 若き眸の 眉あげて
見よ美わしの 常磐木は
わが学び舎の 誇りなり
ここに創らん われらが歴史
校風永遠に 輝きわたる
ああ栄光の わが母校



ごあいさつ



常磐会会長

若山直樹
(高校22回生)

会員の皆様には、ますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

今年も常磐会の季節がやってまいりました。常磐会会則第2条には、本会の目的が高らかに掲げられています。『本会は母校を中心として会員相互の連絡親睦を深め、併せて各自の知徳の向上を図り、母校の名誉の発揚に寄与することを目的とする』、一年に一度、同窓の皆で集い、旧交をあたため、親睦を深める大変

有意義な機会です。多くの皆様の総会へのご出席を願っています。

常磐会は、大正6年に母校京都高校創立とほぼ同時に発足し、平成28年度に100周年を迎えました。本年3月入会の卒業生は高校70回生です。高女時代の30回を繋げれば母校創立以来100回目の卒業生となります。卒業会員総数も約30500を数えるまでとなりました。常磐会は、その歴史と伝統を大切にしながら、その名の通り『とこしえなる友

情を育む、永久不変なもの』でありたいと願っています。会員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、本年度常磐会総会の当番回生は、昭和61年卒業の高校38回生、定時25回生、平成11年卒業の高校51回生、平成23年卒業の高校63回生の皆様です。磯田実行委員長を中心にしっかり準備をして頂きました。実行委員の皆様のご苦勞にあらためて感謝申し上げます。また、本年度総会にあたり、ご協賛頂いた皆様、多大なご協力を賜り誠にありがとうございます。皆様のご厚意は本總會の運営、また現役高校生への教育活動の援助にと大切に使用させて頂きます。

最後になりますが、新たな100年に向けてさらにはばたく母校京都高校の未来と、あわせて常磐会のますますの充実発展を願い、私のごあいさつと致します。



ごあいさつ



校長

木部 勝志

常磐会会員の皆様には、日頃から母校のために多大な御支援と御協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

私は、本年度定期の人事異動により、前校長 田中浩子先生の後任として、福岡県教育センターより参りました。本校は、かつて教諭として十八年間にわたり勤務しました愛着のある学校ですから、教員生活最後の年に再び勤務することができて大

変ありがたく、また身の引き締まる思いがいたしております。浅学非才の身ではありますが、本校発展のために精一杯努力する所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

御存知のように、本校全日制は平成二十七年から、文部科学省より「スーパーグローバルハイスクール（SGH）」として五年間の研究指定を受け、今年度で四年目になります。生徒は、「英知、創造、敬愛」の校訓の下、「将来のグローバル・リーダ

ー」を目指して、本校の先生方だけでなく県内外各大学の先生方からも指導を受けながら、国内外の農業問題についてフィールドワークや海外研修などの探究活動を行っております。これまでの取組を通して、生徒は「自分にはできる」という自信を深めたようですし、学校生活全般への意欲が高まり、希望進路の実現や部活動、学校行事等の充実に繋がっております。生徒諸君の今後の活躍を楽しみに、また頼もしく思っています。（進路・部活動の実績につきましては、本総会誌の該当ページを御覧ください。）

また、本校定時制は夜間定時制高校の特色を生かしながら、多様な生徒を立派な社会人として送り出すべく、学力保障や課題解決能力の向上を目指して学校づくりを行っております。先生方の細やかな指導の結果、生活体験発表会や部活動で好成績を残すなど成果を上げており、近年、上級学校への進学者も増加しております。仕事と勉学の両立に頑張る生徒に、どうか温かい御声援をお願いいたします。

本校は創立から百二年目（定時制は七十一年目）になりますが、教職員一同これからも新興の心意気で本校の躍進を目指して尽力して参りますので、母校に対しまして、これまで同様の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、常磐会の益々の御発展と、会員の皆様の御健勝を祈念しまして、御挨拶いたします。



ごあいさつ



実行委員長

磯田 卓也

(高校38回生)

常磐会会員の皆様、2018年度常磐会実行委員長の高校38回生、磯田卓也です。

今年度実行委員である、高校38回生、高校51回生、高校63回生、定時25回生を代表してご挨拶申し上げます。

常磐会は、福岡県立京都高等女学校、福岡県立京都高校の同窓会であり、会員相互の親睦・懇親を図る事、母校の発展に寄与することを目的として活動しています。

実行委員は毎年4世代の回生で組織され、9月には常磐会総会・親睦会が開催されております。それと同時

時に記念イベントを開催しておりますが、講演会、コンサート、落語など各当番回生の趣向を凝らした内容となっております。このような当番回生のご尽力と、先輩方の温かいご

指導により常磐会の活動は継続され、次の世代へと引き継がれています。

さて今回の記念イベントは、中村文昭さんの講演会です。中村さんは

伊勢にあるレストランのオーナーですが、現在に至るまでのお話が口コミで評判を呼び、現在では年間300本以上の講演を依頼されている方です。私も何度か講演を聞きに行つたことがあります。ご自身の体験談の中に人生を生きていく上での気づきがたくさんあり、とても元気を頂きます。是非皆様にも聞いて頂きたいと思い、今回呼びました次第です。

今回の講演テーマは、「子ども達の、やる気を引き出す」です。ご自身の母親の子育てや、修行時代に師匠から学んだ子育てのやり方など、お話頂けるかと思えます。是非一人でも多くの方に講演会にご参加頂ければと思います。

昨年末より何もわからない状態の中でスタートした委員会でしたが、それぞれがアイデアや意見を出し合い、いろいろと悩みながらも徐々に形となつていきました。その過程の中で、在学中は交流がなかった同級生、51回生、63回生の後輩の方々と過ごした時間はとても楽しく、新たなご縁につながりました。これこそ

が、常磐会の魅力であると思いましたが、常磐会の皆様、その他ご協力

頂いた皆様、本当にありがとうございます。

そして今回の常磐会の運営にあたり、沢山の貴重な協賛広告ならびに寄付金をいただきました常磐会会員様、地域の皆様、本当にありがとうございます。

地域の皆様には可能な限り、協賛して頂いた企業様やお店をご利用して頂けると幸いです。

また今回の常磐会の運営にあたり、多くの助言やご協力を頂いた、前回実行委員をはじめとする諸先輩方、本当にお世話になりました。当初はかなり不安を抱えての船出でしたが、おかげさまで何とか責任を全うすることができました。この伝統を次代に伝えていくことが我々の使命だと、気持ちを新たにしているところです。

最後に、常磐会会員および地域の皆様のますますのご健勝とご多幸を祈念致しまして、挨拶とさせていただきます。



常磐会総会

◆ 総会
11:00
◆ 懇親会
12:00

【期日】
2018年 **9月2日**

【懇親会 会費】 4,000円

【会場】 **京都ホテル**

〒824-0008 行橋市宮市町9-18 ☎0930-23-1800

福岡県立京都高等学校同窓会
2018年度常磐会総会記念事業

中村文昭氏 講演会

※今年度の講演会は総会開催日
(9月2日)とは別日程です。

子どもたちの
やる気を引き出す

2018年

9月12日(水)

開場/18:30 開演/19:00

場所 **コスメイト行橋文化ホール**

行橋市中央1-9-3 TEL0930-25-2300

料金 **1,000円**

★コスメイト行橋受付窓口で発売中

全席自由

※入場は開場後、先着順のご案内します。

チケットのお問い合わせ

コスメイト行橋

☎0930-25-2300



常磐会総会イベント実績

1988(S63)	シルエット劇「角笛劇団」	〈行橋市民会館〉
1989(H1)	講演「ジェームス三木」	〈行橋市民会館〉
1990(H2)	講演「ケント・ギルバート」	〈行橋市民会館〉
1991(H3)	講演「武田 イク」	〈行橋市民会館〉
1992(H4)	講演「橘家 園蔵」	〈行橋市民会館〉
1993(H5)	講演「小川 宏」	〈コスメイト行橋〉
1994(H6)	講演「ケーシー高峰」	〈京都ホテル〉
1995(H7)	講演「井川 良久」	〈京都ホテル〉
1996(H8)	「GSチャリティフェスティバル」	〈行橋市民会館〉
1997(H9)	劇「銀河鉄道の夜」(真夏座)	〈コスメイト行橋〉
1998(H10)	講演「梶添 要一」	〈行橋市民会館〉
1999(H11)	講演「クロード・チアリ」	〈京都高校体育館〉
2000(H12)	能・狂言「野村 萬斎 他」	〈行橋市民会館〉
2001(H13)	講演「桂 文珍」	〈行橋市民会館〉
2002(H14)	講演「宮本 隆治」元NHKアナウンサー	〈行橋市民会館〉
2003(H15)	講演「生島 ヒロシ」	〈行橋市民会館〉
2004(H16)	講演「倍賞 千恵子」	〈行橋市民会館〉
2005(H17)	講演「辻村 寿三郎」	〈行橋市民会館〉
2006(H18)	独演会「春風亭 小朝」	〈行橋市民会館〉
2007(H19)	「山下 洋輔ニューカルテット」JAZZコンサート	〈行橋市民会館〉
2008(H20)	講演「童門 冬二」	〈行橋市民会館〉
2009(H21)	講演「松山 千春」	〈行橋市民会館〉
2010(H22)	精華女子高等学校吹奏楽部演奏会	〈行橋市民会館〉
2011(H23)	講演「金 美齢」	〈行橋市民会館〉
2012(H24)	講演「武田 邦彦」	〈行橋市民会館〉
2013(H25)	京都寄席 The Rakugo! 「円楽独演会」	〈行橋市民会館〉
2014(H26)	「桂 文枝」講演会	〈行橋市民会館〉
2015(H27)	「鈴木 明子」講演会	〈行橋市民会館〉
2016(H28)	「桑田 真澄」講演会	〈行橋市民会館〉
2017(H29)	「渡部 陽一」講演会	〈コスメイト行橋〉
2018(H30)	「中村 文昭」講演会	〈コスメイト行橋〉



歴代会長・校長

◎歴代会長

初代	有松 藤代 会長 (昭和24年約半年間)
2代	中尾 夕二 会長 (昭和24～27年約3年間)
3代	白樫 陸子 会長 (昭和27年約半年間)
4代	八田 三千代 会長 (昭和27～29年約2年間)
5代	石田 ハル子 会長 (昭和29年約半年間)
6代	藤田 春子 会長 (昭和29～33年約4年間)
7代	柳田 照子 会長 (昭和33～35年約2年間)
8代	和田 秀枝 会長 (昭和35～42年約7年間)
9代	山路 英彦 会長 (昭和42～53年約11年間)
10代	白井 末利 会長 (昭和53～62年約9年間)
11代	鍵山 俊輔 会長 (昭和62年～平成10年約11年間)
12代	尾形 知文 会長 (平成10年～17年約7年間)
13代	若山 直樹 会長 (平成17年～)

◎歴代校長

氏名 (就任年月日)

初代	中川 直亮 (大正6年3月28日)
2代	大森 実 (大正9年3月23日)
3代	合屋 武城 (大正10年8月25日)
4代	小川 直熙 (大正15年9月27日)
5代	松本 寛吉 (昭和5年5月22日)
6代	浜上 宝作 (昭和11年3月31日)
7代	和田 熊彦 (昭和15年4月30日)
8代	荻原 豊 (昭和22年5月20日)
9代	八田 静夫 (昭和25年4月1日)
10代	木村 利雄 (昭和27年5月19日)
11代	古谷 弘 (昭和30年5月8日)
12代	大堀 孝生 (昭和34年4月6日)
13代	富本 市平 (昭和38年4月17日)
14代	田頭 喬 (昭和44年4月1日)
15代	米田 栄一 (昭和47年4月1日)
16代	林 真澄 (昭和51年4月1日)
17代	小袋 是郎 (昭和56年4月1日)
18代	香月 晴美 (昭和59年4月1日)
19代	鳥尾 恒美 (昭和62年4月1日)
20代	吉國 岩一 (平成元年4月1日)
21代	岡 泰司 (平成4年4月1日)
22代	梶原 辯二 (平成6年4月1日)
23代	山本 隆生 (平成9年4月1日)
24代	山中 英彦 (平成11年4月1日)
25代	金光 克彦 (平成13年4月1日)
26代	大下 一幸 (平成14年11月1日)
27代	大垣 洋之 (平成17年4月1日)
28代	亀田 陽一 (平成19年4月1日)
29代	武吉 恆 (平成21年4月1日)
30代	中村 潤 (平成24年4月1日)
31代	高須 雅光 (平成26年4月1日)
32代	丸内 毅 (平成27年4月1日)
33代	田中 浩子 (平成28年4月1日)
34代	木部 勝志 (平成30年4月1日)



常磐会本部役員名簿

役 職	備考	氏 名	高校34回生	昭57	執行和彦
会 長	高22	若 山 直 樹	高校35回生	昭58	田原康行
名 譽 会 長	校長	木 部 勝 志	高校36回生	昭59	高城喜典
副 会 長	女30	品 川 洋 子	高校37回生	昭60	大村重彦
”	高31	和 田 雄 二	高校38回生	昭61	磯田卓也
名 譽 副 会 長	教頭(全)	青 木 喜 人	高校39回生	昭62	吉田宗浩
”	教頭(定)	野 田 賀 宣	高校40回生	昭63	村上智信
”	参事事務長	鶴 我 哲 夫	高校41回生	平成元	大村安則
顧 問	高 4	古 谷 信 一	高校42回生	平 2	原田幸一
”	高 4	白 井 末 利	高校43回生	平 3	森上誠
”	高 5	山 路 英 彦	高校44回生	平 4	豊瀬敦
”	高 8	鍵 山 俊 輔	高校45回生	平 5	山田卓
”	高15	尾 形 知 文	高校46回生	平 6	土肥正典
監 査	高20	小 坪 幸 一	高校47回生	平 7	篠田浩平
”	高21	大久保 正 信	高校48回生	平 8	中野充
前年度總會実行委員長	高37	大 村 重 彦	高校49回生	平 9	村上和也
当年度總會実行委員長	高38	磯 田 卓 也	高校50回生	平10	毛利敏徳
勝 山 支 部 長	高21	大久保 正 信	高校51回生	平11	村上剛史
北九州支部長	高13	陣 山 建 夫	高校52回生	平12	藤井樹
東京支部長			高校53回生	平13	右田篤志
福岡支部長	高 8	仲 村 晴 子	高校54回生	平14	宮下壽文
行橋市役所支部長	高29	置 鮎 保 之	高校55回生	平15	吉留雄介
回 生 代 表	卒業年度	氏 名	高校56回生	平16	友清貴文
高女25回生代表	昭18年卒	友 田 房 子	高校57回生	平17	二見真紀人
高女30回生	昭23	品 川 洋 子	高校58回生	平18	細川早斗
高校 3 回生	昭26	廣 松 順 子	高校59回生	平19	照本旭生
高校 4 回生	昭27	小 野 秀 明	高校60回生	平20	馬場亮介
高校 5 回生	昭28	浜 田 哲 朗	高校61回生	平21	有久将司
高校 6 回生	昭29	大 江 国 友	高校62回生	平22	日隈優介
高校 7 回生	昭30	小 松 止 男	高校63回生	平23	前田恵佑
高校 8 回生	昭31	伊 藤 繁 隆	高校64回生	平24	鱒淵聡志
高校 9 回生	昭32	佐 藤 護 彦	高校65回生	平25	隅田拓磨
高校10回生	昭33	塩 塚 誠	高校66回生	平26	定野弘希
高校11回生	昭34	山 内 公 二	高校67回生	平27	浜里俊吾
高校12回生	昭35	角 谷 健 一	高校68回生	平28	白川魁星
高校13回生	昭36	向 井 啓 司	高校69回生	平29	久保奨己
高校14回生	昭37	松 下 清	高校70回生	平30	
高校15回生	昭38	豊 守 齊	定時制高校2回生代表	昭38年卒	中山克己
高校16回生	昭39	白 井 啓 吉	定時制高校6回生	昭42	大平英明
高校17回生	昭40	佐 藤 政 治	定時制高校19回生	昭55	石川國孝
高校18回生	昭41	藤 木 巧 一	定時制高校20回生	昭56	坪根能度
高校19回生	昭42	野 本 俊 一	校 内 役 職	卒業年度	氏 名
高校20回生	昭43	豊 瀬 尉	事 務 局 長	高37	玉江俊樹
高校21回生	昭44	有 門 信 芳	事 務 局 次 長	高31	北川敏行
高校22回生	昭45	石 田 慶三郎	学 校 内 幹 事	高26	田中節子
高校23回生	昭46	松 本 高 彦	”	高28	松川幸憲
高校24回生	昭47	古 谷 芳 樹	”	高29	古島敦子
高校25回生	昭48	池 田 孝 博	”	高31	森林雅浩
高校26回生	昭49	大 下 敏 雄	”	高34	厩谷みゆき
高校27回生	昭50	内 田 克 彦	”	高44	青木直剛
高校28回生	昭51	浦 杉 幸 雄	”	高47	田中久美子
高校29回生	昭52	小 野 誠 子	”	高49	石松久美
高校30回生	昭53	森 辰 彦	”	高55	中島幸宏
高校31回生	昭54	和 田 雄 二	”	高56	上森史
高校32回生	昭55	中 村 浩 行	”	高58	細川早斗
高校33回生	昭56	宗 裕	”	高58	野口明香



職 員 一 覧

職 名	氏 名	担当教科	職 名	氏 名	担当教科
校 長	木 部 勝 志		教 諭	松 野 茂	数 学
参事兼事務長	鶴 我 哲 夫		教 諭	山 本 優 子	数 学
教 頭	青 木 喜 人		教 諭	武 吉 大 輔	数 学
主幹教諭	富 田 慎 也	外国語 (英語)	教 諭	田 中 健 洋	数 学
教 諭	進 佳 昭	外国語 (英語)	教 諭	溝 口 信 也	数 学
教 諭	伊 藤 睦 浩	外国語 (英語)	非常勤講師	金 光 正 明	数 学
教 諭	黄 原 三 佳	外国語 (英語)	教 諭	松 川 幸 憲	保健体育
教 諭	青 木 直 剛	外国語 (英語)	教 諭	玉 江 俊 樹	保健体育
教 諭	横 山 笛 美	外国語 (英語)	教 諭	西 崎 拓 哉	保健体育
教 諭	田 中 香 織	外国語 (英語)	教 諭	日 吉 晶 之	保健体育
教 諭	永 山 雄 一	外国語 (英語)	教 諭	岡 野 聡 未	保健体育
教 諭	北 めぐみ	外国語 (英語)	主幹教諭	仲 江 聖 吾	理 科 (物理)
教 諭	西 村 恵	外国語 (英語)	教 諭	南 波 和 昭	理 科 (化学)
指導教諭	開 田 涼 子	家 庭	教 諭	北 川 敏 行	理 科 (化学)
非常勤講師	岡 田 清 隆	芸 術 (美術)	教 諭	田 中 久 美子	理 科 (生物)
非常勤講師	松 田 ひとみ	芸 術 (音楽)	教 諭	田 所 優 果	理 科 (生物)
非常勤講師	大 森 アユミ	芸 術 (書道)	教 諭	奥 田 真 実	理 科 (物理)
教 諭	森 林 雅 浩	国 語	教 諭	末 松 直 純	理 科 (化学)
教 諭	帛 谷 みゆき	国 語	非常勤講師	今 安 将 大	理 科 (物理)
教 諭	増 田 友佳子	国 語	養護教諭	福 田 瞳	
教 諭	細 川 早 斗	国 語	期限付実習助手	上 森 史	
教 諭	山 下 葉 子	国 語	A L T	マイケル ウィリアムス	
常勤講師	重 松 麗	国 語	事 務 職 員		
教 諭	田 中 節 子	地 歴 (世史)	参事補佐 兼事務次長	藤 村 由 美子	
教 諭	大 塚 宏 志	地 歴 (世史)			
教 諭	和 田 法 明	地 歴 (日史)	主任主事	定 野 恵 美	
教 諭	石 松 久 美	公 民	主任主事	久 岡 義 明	
教 諭	船 田 裕 樹	公 民	主任技能員	森 美 子	
常勤講師	中 島 幸 宏	地 歴 (世史)	主任技能員	村 上 健 治	
常勤講師	山 本 智 美	情 報	主任技能員	松 岡 勉	
主幹教諭	中 山 嘉 憲	数 学	主 事 補	野 口 明 香	
教 諭	深 田 義 幸	数 学	学校司書補	山 中 順 子	
教 諭	古 島 敦 子	数 学	P T A	浅 川 久 美子	
教 諭	井無田 雅 博	数 学	P T A	小 山 明 菜	



平成29年度 進路概況

進路指導主事 仲江 聖吾

昨年度の大学入試の動向

昨年度の大学入試センター試験は、過去最も早い実施日の1月13日・14日に行われました。18歳人口は2万人減少したものの、志願率の増加により一昨年度より約7千人増の約58万人が受験しました。

私大における「経営費補助金」不交付ルールが昨年度さらに厳格化されました。大学の規模に応じて定められた入学定員超過率を超えた場合、經常費補助金が不交付となります。その超過率が、昨年度は厳しくなり、8千人以上の大学では、1.1倍を超える補助金がカットされてしまいます。一般に私大では合格しても入学しない生徒が多いため、定員以上の合格を出しますが、この厳格化により、合格者数を大幅に抑えなければならなくなりました。そのため、昨年度は合格

を絞った大学が多く、最終的に追加合格を出さざるを得ない大学が多くありました。

大学入試における英語外部検定試験の利用が広がっています。国立大学で8%、私立大学17%が利用しています。出願要件・英語の試験免除・見なし満点・換算・加点など利用方法は様々ですが、CFER(セファール)レベルで(表参照)、B1レベル以上のスコア・資格を持つていれば、外部試験利用大学の8割以上はカバーできるようです。

本校の入試結果

昨年度は、本校におけるAO・推薦での受験者数は161名と過去最高の人数でした。SGH(スーパードローバルハイスクール)の取組を通じて培った、話し合ったり、発表したりする力がついたことが、AOなどへの挑戦につながったのだと思います。

最後になりましたが、常磐会におかれましては、日頃より本校教育にご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

うございます。今後とも、引き続きご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

平成29年度 国公立大学合格者数(既卒生を含む)

設立	大学	学部	人数	設立	大学	学部	人数
国立	埼玉	経済学部	1	公立	熊本	医学部	1
	神戸	経営学部	1		熊本	理学部	2
	京都	文学部	1		熊本	工学部	2
	三重	医学部	1		鹿児島	工学部	1
	香川	創造工学部	1		琉球	工学部	1
	高知	理工学部	1		高崎経済	経済学部	1
	岡山	工学部	1		大阪府立	工学部	1
		教育学部	1		大阪府立	地域保健学域	1
	広島	医学部	1		兵庫県立	理学部	1
		工学部	2		岡山県立	情報工学部	1
	島根	人間科学学部	1		福山市立	教育学部	1
	山口	人文学部	1		福山市立	都市経営学部	2
		教育学部	1		県立広島	経営情報学部	1
		経済学部	2		県立広島	保健福祉学部	1
		国際総合科学部	1		下関市立	経済学部	11
		理学部	3		山口東京理科	薬学部	1
	九州	工学部	3		山口東京理科	工学部	5
		理学部	1		福岡県立	人間社会学部	5
	福岡教育	教育学部	1		福岡県立	看護学部	1
		教育学部	1		福岡女子	国際文学部	2
	九州工業	工学部	8		北九州市立	文学部	3
情報工学部		6	法学部	6			
大分	経済学部	3	北九州市立	外国語学部		2	
	福祉健康科学部	3	北九州市立	経済学部		6	
	医学部	1	北九州市立	国際環境工学部		4	
長崎	理学部	4	大分県立看護科学	看護学部	1		
	医学部	1	熊本県立	環境共生学部	2		
熊本	工学部	7	熊本県立	文学部	1		
	多文化社会学部	1	長崎県立	地域創造学部	1		
	法学部	1	宮崎公立	人文学部	1		

平成29年度 私立大学合格者数

大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
福岡工業大学	31	創価大学	4	昭和音楽大学	1
福岡大学	29	日本大学	3	甲南大学	1
西日本工業大学	23	広島国際大学	3	宇部フロンティア大学	1
西南学院大学	23	関西学院大学	3	安田女子大学	1
九州栄養福祉大学	13	神戸学院大学	3	酪農学園大学	1
九州女子大学	12	同志社大学	3	津田塾大学	1
西南学院大学	11	九州産業大学	3	川崎医療福祉大学	1
中村学園大学	9	岡山理科大学	3	帝京大学	1
広島工業大学	8	京都橘大学	3	梅光学院大学	1
久留米大学	7	梅光学院大学	2	東亜大学	1
近畿大学	7	国際医療福祉大学	2	大谷大学	1
九州国際大学	7	東海大学	2	活水女子大学	1
筑紫女学園大学	6	山口学芸大学	2	明治大学	1
崇城大学	5	別府大学	2	東京農業大学	1
立命館大学	5	早稲田大学	2	東洋大学	1
純真学園大学	5	第一薬科大学	2	國學院大学	1
京都女子大学	4	大東文化大学	1	九州保健福祉大学	1
関西外国語大学	4	産業医科大学	1	九州看護福祉大学	1

上級学校合格状況・就職状況

平成29年度	現役	既卒	合計
国立大学	62	6	68
公立大学	56	6	62
私立大学	246	24	270
準大学(防衛大学校等)	8	1	9
国立短大	1	0	1
私立短大	0	0	0
各種学校	41	1	42
事務 営業 技能	0	0	0
公務員	4	4	4



部活動活動状況

全日制 平成30年5月現在

文化部		男子	女子	計
1	演劇	0	7	7
2	華道	0	6	6
3	琴曲	0	7	7
4	コーラス	0	6	6
5	茶道	4	11	15
6	写真	4	14	18
7	囲碁・将棋	15	1	16
8	書道	0	10	10
9	放送	1	10	11
10	煎茶	0	2	2
11	文芸	6	4	10
12	美術	1	20	21
13	吹奏楽	16	64	80
14	料理	1	27	28
15	英語 (ESS)	2	15	17
16	科学同好会	0	2	2

体育部		男子	女子	計
1	バレーボール	24	21	45
2	バスケットボール	28	29	57
3	野球	22	5	27
4	テニス	27	7	34
5	陸上	23	16	39
6	柔道	0	0	0
7	剣道	10	7	17
8	サッカー	33	6	39
9	バドミントン	25	26	51
10	バトン	0	24	24
	ダンス	0	29	29
11	水泳	1	3	4
12	卓球	22	10	32
13	空手道	2	1	3
14	レスリング同好会	2	0	2

部活動 合計		男子	女子	計
部活動生徒数		269	390	659
生徒数		376	457	833
加入率		71.5	85.3	79.1

主な戦績 *平成29年4月～30年1月までの期間での県大会以上

体育部

<バレーボール部>

○全九州ビーチバレージュニア選手権大会 女子九州大会出場

<バスケットボール部>

○福岡県高等学校バスケットボール選手権大会 男子県大会出場

<陸上部>

○福岡県高等学校陸上競技対校選手権大会 県大会出場9名 男子8種競技(3名)、男子走高跳(2名)
女子7種競技(2名)、女子3段跳(2名)

九州大会出場1名 男子8種競技(1名)
○福岡県陸上競技国体選考会 県大会出場2名 女子A走高跳(1名)
女子共通3段跳(1名)

○福岡県高等学校新人陸上競技対抗選手権大会 県大会出場6名 男子8種競技(1名)、男子やり投げ(1名)
女子1500m(1名)、女子800m(1名)
女子400m(1名)、女子7種競技(1名)

<野球部>

○第99回全国高等学校野球選手権福岡大会 県大会出場(ベスト16)

<剣道部>

○福岡県高等学校剣道選手権大会 男子団体県大会出場

<バドミントン部>

○福岡県高等学校バドミントン選手権大会 男子団体県大会出場(ベスト16)

<卓球部>

○国体選考会 女子シングルス(1名) 県大会出場

○福岡県高等学校新人卓球大会 男子シングルス(1名) 県大会出場

○高等学校選抜卓球大会 男子シングルス(1名) 県大会出場

文化部

<吹奏楽部>

○第62回北九州吹奏楽コンクール 高等学校の部Aパート 金賞 県大会出場

○福岡県アンサンブルコンテスト 打楽器五重奏 金賞 九州大会

<放送部>

○福岡県高等学校総合文化祭放送コンテスト 朗読部門(1名) 県大会出場

<写真部>

○福岡県高等学校総合文化祭写真部門 県入選(2名) 特選、入選

<囲碁・将棋部>

○第24回福岡県高文連将棋選手権大会門 男子個人(1名) 全国大会出場



職名	氏名	担当教科
校長	木部 勝志	
参事兼事務長	鶴我 哲夫	
教頭	野田 賀宣	
教諭	藤田 昭司	国語
教諭	渡邊 光治	地歴
教諭	吉浦 祐二	公民
教諭	竹下 齋明	数学
教諭	板東 恭平	保健体育
常勤講師	河村 中	理科
常勤講師	牧 薫	外国語(英語)
養護助教諭	寶田 早苗	養護助教諭
非常勤講師	野島 洋子	家庭
非常勤講師	二木 浩子	芸術
非常勤講師	堀之内 綾子	情報
主事	田中 佑弥	

定時制近況報告

まず、平成二十九年度の生徒の進路状況をご紹介します。二十九年度は、四年修了生が一六名、三年修了生が三名、計一九名の生徒が卒業しました。在学中からの仕事を継続している生徒もいますが、新規就職者が八名、進学者が四名でした。

次に、平成二十九年度の特色ある行事・活動をご紹介します。

九月に行われた生活体験発表北九州地区大会に四年生一名、二年生一名が出場しました。今までの経験を発表し、優秀賞・努力賞を受賞し、一名は、地区代表として県大会に出場しました。

十月には、定時制課程創立七十周年記念式典が行われました。定時卒業生の講演会や全校生徒の氏名印を使って記念作品を完成させました。式典当日には、普段校歌を歌う機会が少ない生徒たちですが、練習を重ね大きな声で校歌斉唱を行いました。

文化部関係では、四月に行われた北九州芸術祭(書道部門)において、三年生四名が特選、八名が入選となりました。また、行橋市人権週間啓発作品(書道の部)では、二年生一名が最優秀賞、四年生二名、二年生一名が入選となりました。高文連書道部門授業作品展においても四年生一名、三年生三名が入選しました。

体育部関係では、高体連連通部北部ブロック卓球大会に二年生男子が出場し、県大会に出場しました。また秋季大会にも二年生男子が出場し、県大会に出場しました。六月には定時制通信制高校陸上競技大会の三千メートル障害に四年生男子が出場しました。

本年度は、新入生一六名を迎え、全校七十四名の生徒数でスタートしました。

生徒たちは、仕事に勉学に全力で励んでいます。



恩師からの
おたより

当時は気づけなかった...
厳しい指導には理由がある
ということに...

「現在 過去 未来」

38 回生 3 年 3 組担任

亀田 陽一 先生



今年度も常磐会総会が盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

三十八回生の皆さんお疲れ様です。また、ありがとうございます。卒業してから三十有余年、それぞれ自分の世界をつくり、今日という日を迎えられていることと思います。当番回生としての活動に積極的に参加されている皆さんは、充実した現在を生き、過去をプラスに評価し、未来に明るい展望を持てる人達といえるのではないのでしょうか。熱き思いで俱に一つのことを成し遂げることにより、さらに自信を深めることができると思います。残念ながら今回は縁のなかった人達も機会があれば、関わりを持っていただくことを願っています。新たな出会いにより見える風景が変わってくるものです。皆さんにとつての京都高校は永遠に母校であり続けます。同窓生として末永く京都高校とその生徒たちを暖かく見守つていただきたいと思います。皆さんの高校生活は、入学式、そして翌日からの英彦山での体験学習と、異例のスタートをしました。和田学年は従来の京都高校の指導体制に新たな要素を加え、さらに生徒が意欲を持って学べる環境づくりを進

めました。変えることのリスクを背負いながらの日々でしたので、前進あるのみ。まさに、「若者に過去はない」という意気込みで、皆さんの有意義な高校生活の実現・進路保障のために力を注いできたと思います。個人的には、初めて三年間通して担任をさせてもらった学年です。そのため気負いもあり、何かと迷惑をおかけしたことと思いますが、周囲の先生方や生徒の皆さんに助けられながら、語りつくせないほど濃密な思い出の詰まった三年間となりました。その後、三十年の月日が流れ、退職後は、二年ほど単位制通信制高校に関わりました。次いで、地元の図書館に三年間お世話になり、現在は自宅前の菜園で野菜づくりの真似事などを行っています。自然に生かされていることを感じることも多いのですが、小人にはなかなか煩惱を取り去ることができません。残された時間をいかに心穏やかに過ごすかが今後の課題となっています。

結びになりましたが、皆様のご多幸と京都高校の益々のご発展をお祈り申し上げ、筆を擱きたいと思ひます。

平成30年度常磐会総会開催を心よりお祝い申し上げます。当番回生の38期生の勇姿を拝見するのを楽しみにしております。

君達が卒業したのは昭和61年でした。あれから32年の歳月が経過したわけですね。18歳で卒業、それぞれの違った人生を歩んでこられました。しかし、顔を合わせれば瞬時に高校時代が蘇ってきます。それが同級生の嬉しい時間となるはずです。

それでは、私の近況報告を致します。

私は平成20年3月北九州高校を最後に39年間の教職を退きました。そして行橋市歴史資料館から声がかか

近況報告

38 回生 3 年 6 組担任

棚田 規生 先生





り学芸員として勤務しました。もと

もと歴史にも興味があり、資料館には地域のお宝がたくさん集積されているため、時の経つのを忘れることがどれだけあったことか。特に書幅

類をはじめ江戸時代の大庄屋日記、豪商の什器類や数多くの書翰が収蔵庫の棚に並んでいます。その大半が

毛筆で書かれています。私は書が専門とは言え、古文書類はこれまであまり目にしたことがありませんでした

が、一つひとつ開いていくうちにそれぞれの筆者の書き癖がわかり、

少しずつ読めるようになりました。これが資料館勤務の最大の成果でした。

また、資料館では多くの市民の方が訪ねて来られます。その方々と窓口でお話するのも楽しいひとときとなりました。

また、年に数回特別展や企画展があり、その展示に係わる色んな作業も楽しくできました。特にキャプション作りが上手になりました。6年

があつという間に過ぎていきました。そして、資料館にはボランティアガイドの会があり、各位から行橋を

訪ねて来られるお客様を案内します。この方々とも仲良く交流をしております。資料館退職後もこの会に合流させて

もらい、今も時折りガイドを行っております。しかし、私のガイドはレベルの低いダジャレガイドで通して

います。行橋には各地に多くの興味あるスポットがあります。ガイドしてほし

いことがありますたら遠慮なく資料館（コスメイト2F）に連絡して下さい。

また、私事ですが11月9日〜12日（資料館の隣室）に書の個展を予定

していますので興味がある方はご覧いただければ幸いです。

最後になりましたが、京都高校の益々の発展と常磐会の皆様のご健勝

とご多幸を記念して筆を擱きます。

常磐会総会の開催、誠におめでとうございます。教師として六年目、

二校目の学校として赴任したのが京都高校でした。赴任と同時に一年生の

の担任になり、皆さんと三年間を共にすることとなりました。

この学年は、和田英樹学年主任の強いリーダーシップのもと、何事にも全力で取り組む学年だったと思います。勉強に部活動、模試に検定に

と頑張っていました。色々な場面が浮かびますが、体育大会の京都体操

皆さんが心を一つにして頑張っていた姿を思い出します。九重キャン

プでは雨の中のキャンプファイヤー、

スキー教室の修学旅行等懐かしく思い出されます。

私は被服科の担任をさせていただきました。明るく元気な女子クラス

で、三年間クラス替えがないので繋がりも強く、楽しい三年間を送らせてもらいました。私の誕生日には、

朝ホームルームに行くとき黒板におめでとうのメッセージが書いてあり、毎年忘れずにいてくれたこと、皆さんの優しい気持ちが本当に嬉しかったことを覚えています。

38回生の思い出と近況報告

近況報告

38回生 3年7組担任

衛藤 由美先生



卒業して三十年以上が経ちますが、クラス会で元気な姿を見せてくれ、退職した時はお祝いをしてくれたことを嬉しく思います。

現在私は退職と同時に実家の大分に戻り、母を介護しながらのんびりとした生活を送っています。母は足

が弱くなり、骨折を繰り返した結果、現在移動は車いすです。九十歳過ぎ

ての骨折でも、寝たきりにはなりたくないとの目標を持ち、毎日リハビリに励んでいました。時間の制約は

ありますが、元気になった母と楽しく過ごしています。

また地元に戻ったと同時に、ボラ

ンティア

活動

に参加

しています。

また

地元

に戻

った



平成11年卒業生 (第51期生)の 思い出

51回生 1の9、

2の4、3の4担任

松岡 孝先生

ンティアガイドの会に入会し、街づくり推進協議会のメンバーにもなりました。地区には歴史的建築物が現存しており、見学に訪れる人もいます。ガイドを希望する方や地元の小學生に町並みを案内し、歴史文化を紹介しています。現在は母の介護があり、あまり参加できていませんが、地域活性化のためにも活動を続けていきたいと思っています。

最後になりましたが、皆さまのご活躍と京都高校発展を祈念いたします。

フレッシュで闊達な梶原先生から学年をもたないかの話を受け、少しでも違った風を吹き込めないかと考えしお引き受けた。

というのもガンジガラメの進学体制が嫌で京都高校から逃げ腰だったので。そうはいつても積み重ねられた伝統を息に覆す訳にもいかない。担任は森・一ノ瀬・森林・波多野・小野・宮村・藤田・私の布陣、従来の京都の重鎮が目付けとして配置された。教材研究に燃えいつも眼を赤くしたF先生、考えこまざるをえないギャグで愛妻家のM先生、自分にも生徒にも厳格なN先生、新人で一途なH先生、I先生。

君達は英宿数宿国宿に追いまくられ、実に朝テスト定例テスト実力テスト対外模試に苦しめられました。

肝心の中間考査期末考査の時はリラックスしているようにさえ思われかけた。生活面では自宅学習の記録・服装頭髪検査・門立ち指導に規制され窮屈だったと思います。当然それらを課す教員側も苦しみました。全員一丸となつてやれたわけではありません。その指導形態が万全という考えがある反面、それらの課題やテストがあるため自分のやりたい授業ができない、生徒の個性をつぶす指導をしたくないという考えもありました。

教育はその間で苦しむのが仕事ですが、君達生徒は日々苦闘したと思います。

そんな日常の中でも体育大会のメイポールダンスやエイヤツの京都体操での君たちの誇らしい顔を見ると心配しすぎかなとも思いました。規律と友情の体験学習を銘打つ久住キャンプでは坊ヶツルで汚水まじりの川にとびこみ水をガブ飲みする輩もいましたが、校長も止めませんでした。

また諸行事は生徒中心にさせようとする学校の方針に沿ってこれを一

手に引き受ける生徒会長も現れました。村上剛史君と川辺憲慶君です。おかげでスキー修学旅行でもその力を発揮し引率教員は生徒と一緒にスキーを楽しむことができました。



三年の対外模試では本名ではなくピカチュウなどのキャラクター名で登録する者がいたり、昼食を出前注文し校門で受けとる女子生徒もいました。また京都の進学体制からやや逸れて、夏冬休みに海外ホームステイや東京での美術や音楽の講習会も出てきて、卒業時には、海外の大学へ行く者も現われました。



人事異動で校長は山本・担任も佐々木・松川・亀田先生が新しい地になりなんとか三年間を終了させることができました。部活動も含めて学校全体の支えがあった御蔭です。

勿論こんな厳しい指導体制に染まるわけにはいかない生徒も多数現れたことは反省すべきことです。私は君達の卒業（1999年）後もまだ京都で、退職（2007年）まで勤めました。その後2年間フリーピンに行き片言の英語で現地の中高校や大学で数学を教えました。16才の大学新入生は君達の数Ⅲ・C更に大学の微積分を履修し四苦八苦していました。それについての質問を昼休みや放課後に受ける役目です。半分腐っている日本の教育と違って意欲にあふれた学生を相手にし、日本での疲れがふきとび生き返る思いがしました。その後は一丁前に家族の看護介護子守りに加え畑作りもしています。また豊津でのかつての教え子も定年を迎え始め山登り酒飲みの相手のアフターサービスをしています。

君達は今仕事や家庭のきりもりの真っ最中だと思いますが、健康に気

をつけて日本の世界の将来を見据えながら活躍されることを祈ります。君達とも再開し歓談し山登りできる日を期待します。



原 点

51回生 3年1組担任

波多野 郁子先生

常磐会総会の開催にあたり、心からお祝い申し上げます。皆様お元気で過ごしてでしょうか。あれからもう二十年も時が流れたとは信じがたいほどです。卒業アルバムを見ながら、それぞれ大人になった姿を想像しています。

京都高校には初任者として平成六年に赴任しました。通い始めた頃から、特に好きだったのが桜と菜の花が美しい今川の風景です。のんびり水面を進む鴨や、橋の上の電線に同じ方角を向いてズラリと並ぶユリカモメが京都高校の思い出とともに脳裏に刻まれていて、思い浮かべると、心地よい風の感覚がよみがえり懐かしさでいっぱいになります。平成二十四年に戸畑高校に転勤するまでの十八年間、長きにわたりお世話になりました。

担任として京都高校で五回、戸畑で二回の卒業生を送り出すことがで

きたことは、私にとって、かけがえない財産です。入学してから卒業するまでの三年間、同じ生徒たちの成長に関わらせていただけたということ、本当に幸せだったと思います。どの年にも大切な思い出がたくさんありますが、担任として初めての卒業生である皆さんへの思いはやはり特別なものです。

あの頃、念願の担任としての生活に全てを注いでいました。何もかも新鮮で楽しかったことを覚えていますが、一つ一つが手探り状態で、随分頼りない担任だったと思いますが、その分、生徒の皆さんがしっかりと動いてくれて何とか過ごすことができていたように思います。やんちゃな男子たちに手を焼き、お姉さん的な女子たちに世話を焼かれ、といった感じだったように記憶しています。

文化祭のステージ発表ではクラスで、民族衣装風のコスチュームを半分手作りして、世界五か国の結婚式のファッションショーをしました。ドリカムの曲をBGMにして全員並んで手話で歌ったのですが、見方によつては失礼なことだと先輩の先生



から指摘され、とても勉強になったことを思い出します。

日常のさまざまな場面において、物事を一方から見て自分がいいと思うことを通すのではなく、あらゆる角度から見て、深く考えて行動することの大切さを学んだ経験でした。私自身、京都高校で教師として生徒とともに育てていただいたことに大変感謝しています。

なかなか難しいことですが、特に皆さんと接する時には「一面だけ見て決めつけないこと」を心がけていたつもりです。毎日のホームルームや授業中の表情や言葉、放課後の面談と家庭訪問を通して、皆さんや保護者の方々から教わったことがたくさんありました。

それぞれ人間としての持ち味や魅力は千差万別で、将来の可能性までは、高校三年間では計り知れないものがあると思います。高校卒業後、それぞれの道を歩んで大人になった皆さんに会えるのがとても楽しみです。

世の中が大きく変化し、学校教育も従来の形式が通用しないことが多

く、学び続ける毎日です。

今年の四月に門司学園高校に転勤し、生徒指導主事として、担任の時は違う距離感で生徒たちと接しています。これからも、京都高校で培った「原点」を忘れず、前を向いて生きていきたいと思っています。

結びにあたり、皆様のご多幸と京都高校の益々のご発展を祈念申し上げます。

思い出

63回生へ

63回生

3年2組担任・理科(生物)

徳永 聖一先生

平成20年、63回生の皆さんが入学

した春、私は京都高校に赴任しました。私はそれまで、京築地区にはまったく縁もゆかりもなく、期待と不安の入り混じった複雑な気持ちでの少し控えめな校門をくぐった日を含め、今でも覚えています。最初の一年目は只々、はやく新しい環境に慣れることと片道50kmの通勤を如何に安全運転するかに神経をすり減らしていたように思います。そして二年目、63回生が第二学年に進級した春に担任となり、とても個性的な生徒達とともに充実した三年目を終えることができました。

校舎の窓から見える平尾台は四季折々の顔を見せ、冬に薄らと雪化粧した稜線を文系棟の外階段から眺めることがとても好きでした。春には

今川の河川敷に美しく咲き誇る菜の花や桜並木がいつも通勤の疲れを癒してくれました。何よりも京都高校の先生方や生徒の皆さんはとても親切で優しく、遠い町からやってきた私を温かく迎えてくださり、通勤は毎日大変でしたが、一度も辛いと感じたことはありませんでした。

京都高校の生徒は、素朴で素直、ちよつと意地っ張りなところもありますが、理想高く誇りがある。とにかく明るくて律義で、今でも多くの卒業生がことあるごとに連絡をくれます。頑張り屋さんが多く、早朝の課外から授業、部活動まで一所懸命に取り組んでいましたね。時々、調子によって酷く叱られることもありましたが、教師の言葉に真剣に耳を傾ける姿は印象的でした。

クラスでの思い出は幾つもありますが、平成21年7月の日食は忘れられません。ちょうど担任クラスでの授業のときに日食が始まり、少し雲が出てはいましたが、欠けていく太陽と薄暗くなる景色、世紀の天体シ



ヨーにクラスみんなで感激したことを思い出します。この年は確か、新型インフルエンザが流行して全員マスク着用が指示され、終業式が教室で行われたように思います。しかし、われらが2組は誰も感染しなかった。3年生の初夏、最後の文化祭の合唱コンクール。全身で指揮棒を振るJさん、ピアノの美しく軽快な旋律を奏でるMさん、皆で元気よく歌ったスピッツの「チェリー」は今でも私の大好きな曲のひとつです。

私はいま、福岡市東区の県立高校在の勤務校は、普通科の他に英語科と理数コースがある、一学年10クラスの大きな学校です。学校前の通りには桜並木があり、春には職員室から満開の桜を眺めながら懐かしいあの今川の河川敷の風景を思い出しています。今でも授業では相変わらず「生命とはなんだ？」などを熱く語っています。本当に相変わらずです。でも、皆さんはよく話を聞いてくれましたね。

三年目が終わる早春、63回生の皆さんの門出を見送った数日後、東日本での未曾有の災害が起こりました。連日放送される津波の映像に、とても悲しい気持ちになったことを思い出します。未来に何が起こるかなんて誰にもわかりません。平穏な日常が突然、根こそぎ奪われ、大切なものを失うこともあるでしょう。そして自分の無力さに苦しみ、打ち拉げられるかもしれません。そんな時でも、皆さんには前を向いて誰かと一緒に泣き、誰かと一緒に笑える「強く優しい心」を持ち続けて欲しいと思います。

今は遠く離れた学校に勤務していますが、また、いつか、皆さんと逢いできる日を楽しみにしています。今でも校門の前の小さな商店はあのでしょうか。夏の暑い日の放課後に食べたアイスは美味しかったなあ。

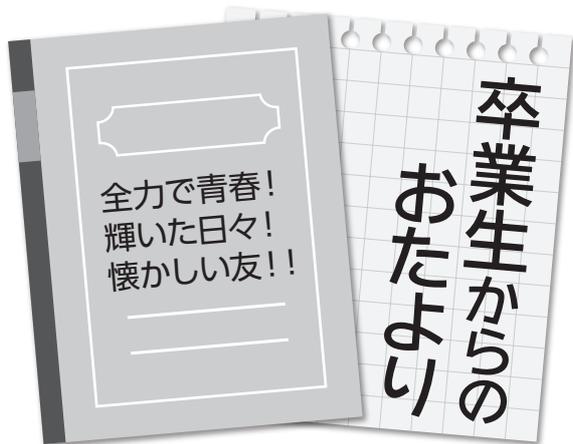


高校卒業から数年後に昭和から平成になり、21世紀になった。携帯電話



高校38回生
1組 安富 直樹

「風薫る若き世紀の朝ぼらけ」



話が少しずつ普及し始め、コンピュータが身近なものになり、インターネットが大学の研修室から飛び出した。

入学してすぐ宿泊体験学習へ行った。広い体育館に赤いジャージが映える。よそよそしさが寝食を共にすることで、どんどん薄まっていった。学校に戻る頃には仲間になっていた。赤いジャージは情熱の証。Tanned トモの赤いジャージを見る度に、スキー修学旅行やクラスマッチなどよりも先に、「8時間目までであるのは、なんでだろう」と、濃い情熱の血潮のような毎日が想い出される。赤いスポーツバックの中には、英語の辞書や資料集。毎日重い思いをして、学校で「学ぶ」という想いを運ぶ。それが京都生の朝だ。私の自転車はその重みに耐えられるよう行橋サイクルで特別仕様車に仕立ててもらった。これで毎日「尽きぬ流れの今川」を渡り、通った。

高校を卒業して32年が過ぎ、50代へ一歩踏み出した。自分の子どもも高校生になると、毎日運んだぼろぼろの「チャート式」や「基礎からの

英語」を思い出した。

1995年、阪神・淡路大震災が起きた日。何がどうなったのか情報が少なかった。街が明るくなるにつれ、とんでもないことが起こったのだと分かる。当時担任していた児童の保護者が「何か子どもたちの教育にお役立てください。」と、神戸で私たちが高校1年生のときに新設された「現代社会」の一コマが蘇った。

吉山先生がお札と硬貨はどちらが多いか質問された。多くの生徒が「硬貨」に手を挙げると笑顔で、「みなさんはまだまだ世の中のことをたくさん知ることが必要ですね。」とおっしゃっていたことが思い出された。記憶にも新しい東日本大震災。金曜日だった。地面が波打ち、プールからの水が溢れ出した。避難した校庭で泣き出す低学年児童も多く、高学年児童は寄り添って大丈夫と声をかけていた。地域の方が避難してくる中、亀田先生の世界史での一場面

がふと思い出された。「先生、世界史って意味あるんですか。」という生徒の質問に、苦笑いをしながら



「意味のないことはないよ。みんなつながっているんだからね。」というものの早口で答えられていた。1995年に大きく変化した防災意識。集まられた方々に対し、子どもたちと一緒に考えた対応策を実践していた。

22世紀に向かって、これからも新しい「文化の京都」精神を發揮していきたい。



京都高校を卒業して 思うこと

高校38回生

2組 山路 浩三郎



このたび38回生として寄稿させていただきます機会に恵まれ、大変光栄に感じております。

卒業して32年が経ちますが、今回久しぶりに卒業アルバムを開きました。夏のキャンプや運動会、文化祭などの写真をみて懐かしく思うと同時に、くだらない事や子供じみた事をやっていたことも思い出少し恥ずかしさも覚えました。あの頃は課外授業が多く、もっと自由な青春時代を過ごしたい、そう思って他校の生徒を羨ましく感じたりしていたよ

うに思います。準備をされる先生方は生徒よりも大変であることを当時はまだ分かっていませんでした。そんな怠け者の自分も、ご指導のおかげで何とか大分医科大学（現在の大分大学医学部）に進学することができました。

大学に入学してみると医学部のカリキュラムは思っていたよりもタイトであることに驚かされました。3学期制で学期末ごとに試験があり、基礎医学、臨床科目いずれも1科目でも落とすと留年してしまいます。

6年生の後半にある卒業試験では2科目以上ある臨床系科目すべてをクリアしなければ卒業できません。試験期間も1カ月以上あります。そしてそのあとは国家試験が待っています。自分は部活のラグビーをつづけながら、かろうじて留年せず卒業し国家試験にも合格できましたが、これも高校で鍛えられた経験が役に立ったのだと思います。

医者になり九州大学の内科系医局に入局しました。2年間の研修医生活を終え、上司にいわれるがまま大学院に進んだ自分でしたが、最初は

あまり興味がなかった研究に段々と面白さを感じ、いつしか研究者として生きて行きたいと思うようになりました。そして博士号を取得しませんでした。30歳で希望していたアメリカに留学しました。しかし3年近く過ぎた留学先では十分な成果がなく残念なカタチで帰国。その後大学に戻り、臨床医の傍ら再度研究に取り組むも、37歳でまたもや市中の病院に意向を命ぜられました。さすがに大学にはもう戻れないだろうと感じ、しばらく悩んだ末に40歳で大学医局を辞め、福岡市内のとある内科診療所で雇われ院長として働くことになりました。まだどこか吹っ切れずに仕事をしていたそんなとき、高校時代の同級生から同窓会の誘いを受けました。行ってみると、そこにはかつて見た顔ぶれがありました。昔の思い出話をしつつ近況を聞くにつれ、皆それぞれに悩みを抱えながら人生を歩んでいるのだと、当たり前のことですが実感し気が楽になりました。

10年以上会っていなかったのに、そういう話ができる友人がいることを本当に有難く感じました。

現在、私は独立し博多で内科診療所を開業しています。今年の9月で丸6年。いわゆる町医者として働いています。地域住民の方々の健康管理を行うことにやりがいと誇りを感じています。今の自分があり、また前向きに生きていられるのは、高校時代に厳しくも熱心に指導していただいた経験、そしてそこで知り合った友人たちがどこか心の支えになっていたから、そんな気がします。京都高校で得たそれらを、これから大切にしたいと思います。

最後に、常磐会の幹事の皆様に感謝いたしますとともに、京都高校の益々の発展と、同窓生の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。



「人生一〇〇年 時代に向けて」

高校38回生

8組 佐藤 広美



今年3月で私もとうとう五十歳になりました。『人生一〇〇年時代』と言われていた昨今では折り返し地点まで来たことになりました。

しかし、振り返るとあつという間違ったなと思います。京都高校を卒業して三十二年にもなるなんて、一気に走り抜けた気がします。

高校卒業後、私は太宰府にある短大に進学しました。元々、お菓子作りや料理が好きだった事もあり、食物栄養科を選択し栄養士資格を取得しました。しかし、短大卒業後は栄養士資格を活かすことなく、某信販

会社に一般担当職として入社。栄養士資格は、結婚した時、旦那様の為に活かしたら良いかなと安易に思っておりませんでした。

【走り抜けた二十代】各部署の仕事を感じるのに必死だった時代です。あの頃は残業も多く、土日もシフトで出勤していました。あの頃に『働き方改革』という制度があれば…。

【加速した三十代】仕事のノウハウも把握していた三十代に入つて福岡から離れることになりました。一般担当職から、全国転勤を伴う総合職に転換。その後、店長として重責を担うことにもなりました。色々な部署や地域に異動したので、引越が大変でした。

【更に加速し、人生を考え込んだ四十代】仕事ばかりに必死になっていて、気が付けば四十歳を過ぎていました。「あれっ、私このままで良いの？」四国の松山に赴任していた頃に湧き出た疑問です。意を決して一年間限定で、松山から福岡へ婚活通い。でも、考えるのが遅かったかな？残念ながらご縁はありませんでした。そこから更に、自分の将来に

ついて考えるようになりました。そんな時期、ある外資系企業からスカウトを受け、悩み抜いて入社を決意しました。

今では、前職約二十二年・現職約八年での金融知識・経験を活かして、マネーセミナーの講師も時々させて頂いております。プライベートでは、女子会等の企画をしたり、人と人の縁繋ぎをしたり。私が少しでも誰かの役に立つことが出来たなら…との思いで活動しております。

周りの方からは、バリバリのキャリアウーマンだねと言われる事も多いですが、高校時代は人前に立つなんて考えられませんでした。どちらかというと内気な方で早くお嫁さんになりたかった。人生って、どうなるかわからないですね。

【振り返ると懐かしい高校時代】勝てなかったテニスの試合、眠かった朝練に合宿での肝試し。部室でのおしゃべりやタロット占い。楽しかった♪ そろばんや簿記などの検定試験は大変だったけど、今に活かされています。そして、淡く切ない片思いもありました。(青春してたなあ)

【そして、これからの五十年】やっぱり、これからはワークライフバランス♪ 青春とまではいかなかったも、自分がワクワクすることを増やしていきたいと思えます。仕事も遣り甲斐あるけど、毎日が日曜日になった時、空っぽにならないように。一緒に楽しむ仲間を増やして、貯蓄も殖やして。そして、長く楽しむ為の健康な体も作りながら。



「吾輩は京都生だった
理由はもうある！」

高校51回生

1組 村上 剛史



私事ですが、男の子二人の父になりました。

長男は小学五年生で、超がつくほど真面目な子。でも「ふとんがふつとんだ」「ネコがねころんだ」レベルの駄じやれで大爆笑したりもする、ひょうきんな所もある素直な子。

そうそう、釣りをするのが大好きで、アジが大量入れ食いだった時のこと。「このアジは南蛮漬けにしよな」「それどんな味?」「え?どんな味って、アジだけに?」「ギヤハハハ、お父さん、まじでおもしろー!」こんな、たわいないやりとり

が、いつまでも続けられるといいな。次男は小学二年生。兄とは真逆の性格で、芸人のネタをモノマネしたりする、ひょうきんで心優しい子。

ただ、便秘気味。いざ用を足すときはうめき声をあげ、大きなブツを出す、もはや出産なみ。

そうそう、私が頭痛でしゃがみ込んでいた時のこと。私の顔を覗き込みながら「お父さん大丈夫?! 大きいウ○チがでそうなの?? ティッシュ持ってこようか?」って。いや、今は頭痛な…。でもいつまでもその優しい気持ち、忘れないでいてほしい。

そんなある日のこと。長男に「なんでお父さんはお父さんの高校に行ったの?」と訊かれたことがある。「理由なんて、初めはなかったぞ。そんなこと後から付いてくるものなのだ。高校で勉強を頑張ったおかげ

で、大学に行って、自分で塾を開いて、何百人もの生徒にありがとうって言うてもらえて、毎日大好きな仕事ができよる。そしてお前たち二人の親になれて、こうして幸せな生活が送られている。お父さんにとって

京都高校に行った理由は、今のこのお父さんの生活にたどり着くためだったと、大人になってやっとわかったよ。」

「それに、部活入って今でも付き合いのある大切な仲間とも出会えたり、泣いて抱き合うほどの喜びと感動も経験した。京都高校入った理由なんでものは、ほとんど後付けだな」

「ふくん」と、子ども達は納得したのかどうなのか。いずれにしても、彼らも人生の中で大きな選択や決断を迫られる時は必ず来る。そしてその選択や決断の理由が後から必ず付いてくる。だからこそ、その後付けする理由が素晴らしいものになるように、溢れんばかりになるように、これからも精一杯生きてほしいと切に願うし、今はまだ自分も寄り添い力になりたいと、そんな風に思っている。

最後に、現役京都生へ。毎日が充実している子は、それでよし。その調子で頑張りなさい。もし反対に、勉強がちよっぴり苦しく感じる子、進路に悩んでいる子、生き甲斐が見つけられない子、そんな子がいるの

なら、一度、胸張って叫んでみてはどうだろうか。

「吾輩は京都生である。理由はまだない!」

キリリと、格好よくね。

皆さんのご健闘をお祈りしております。



「ちよつとダサイ!? 誇るべき京都生」

高校51回生

8組 今井 さち
(旧姓 濱田)

早いもので、京都高校を卒業してからもうすぐ20年が経とうとしています。在学中は、真面目な生徒とは言えなかった私ですが、このたび、ご縁があつてお声がけいただき、こうして寄稿文を書かせていただいています。



20年も前のことですが、当時の思い出は今でも鮮明に記憶の中にあります。信じられないぐらい重い鞆を背負つて登下校していたこと、眠気と戦いながら大量の宿題をこなしていたこと、毎日部活に明け暮れていたこと、月に一度行われる服装検査をパスするのに必死だったこと、ダサイ防寒着、ダサイサブバッグ、しかも私たちの学年は一番ダサイと言われる緑色! :今となつては、その全てが愛おしい。

卒業してからはずっと遠方で過ごしている私ですが、周りの人に当時の京都の校則や授業時間などを話すと、必ず「ウケ」ます。それと同時に、そのことを誇らしく話している自分に気が付くのです。当時は辛くて仕方なかったことも、いつの間にか「ちよつと自慢したいこと」に交換されています。

昨年、里帰り出産のために帰省し、数ヶ月間を地元で過ごしました。お盆やお正月には帰省しているものの、数ヶ月の間、地元滞在了したのは

約20年振りでした。地元を離れて日々仕事に忙殺されているとつい忘れていましたが、やはり私の原点はここにあるのだと再確認できました。そして、その大部分を占めているのが、多感な時期を過ごした京都高校での日々です。宿題や部活や厳しい校則など、窮屈な中にももちろん楽しいことがたくさんあり、むしろ窮屈だったからこそ同級生や先輩、後輩とそれを分かち合いながら日々を過ごしていたように思います。生まれてきた娘に自慢したい、そんな学校が京都高校です。何かの巡り合わせで、もしも15年後に地元で暮らすことになれば、娘には京都高校を薦めようと思つています。ちよつとダサイけど、最高だよ! : (笑)

里帰り中、街で京都生を見かけることも多く、懐かしさと甘酸っぱさの入り混じった気持ちで眺めています。見ず知らずの、いくつも年の離れた後輩たちですが、誇るべき「京都生」です。

そして、相変わらず重そうな鞆を持って、少し傾いた肩に密かにエールを送りました。



「2018年度 常磐会総会に際し」

高校63回生

8組 林 憲佑

今年の2月、四国旅行の帰路についていた私の携帯電話に、高校2・3年時の同級生（Y君）から突然連絡が来ました。Y君は、私にとって高校時代の数少ない友人の一人でありました。私が高校を卒業し、兵庫県の大学に進学した後も、彼とは帰省の際に何度か遊びに行っていた仲でした。しかし、就職活動が本格化するあたりで、会うことはおろか連絡を取り合うことも皆無となつてしまいました。そんな彼からの突然の連絡でございます。嬉しくないわけがありません。「久しぶりの遊びのお誘いかしら？私もまだまだ捨てられたものではないな…」などと思いつつ、しばらくはお互いに近況報告に勤しんでいました。

近況報告も落ち着き、彼からある依頼を受けました。「常磐会の協力回生の当番が回ってきているのだが、人手が足りない。今までは同級生のN君（副実行委員長）とM君が中心となつて準備を進めてきてくれたのだが、M君は仕事で東京都に行つてしまった。私も手伝いたいのが、今は佐賀県に住んでいるのでなかなか出来そうにない。そこで、N君が林君にぜひお願いしたいと言っているのだが、N君は林君の連絡先を知らない。私の方からN君に連絡先を教えたい。私の方からN君に連絡先を交換していただくのですが…」。

その旨を快諾すると、すぐにN君から連絡が来ました。快諾したのが後の祭り。内容は、言うまでもありません。私はみやこ町勝山の出身ですが、昨年から仕事の関係で福岡市に住んでいるので、満足にお手伝いすることができないと思います、最初は躊躇しましたが、「来月の実行委員会の会議に、せめて顔だけでも出してくれれば…」とのこと。Y君同様、私にとって貴重な貴重な友人の一人であったN君の依頼を無下に断ることはできませんでした。

翌週、行橋市内で久しぶりにN君に会い、活動内容の詳しい説明を受けました。翌月、初めて会議に出席しました。そこでは、実行委員長と総会誌担当のFさんが、私と同じ区内に居住していることが判明し、世間の狭さを実感しました。同時に、「福岡市在住なもので…」という逃げの口上は通用しないことも確実となりました。

以後、勝山地区へ協賛金のご依頼に伺いました。訪問先の皆様は、このような不躰者に対しても快く応対して頂きました。訪問先の方々のご厚情にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

最後になりますが、今年度の常磐会総会に向けて、微力ながらも精一杯お手伝いさせていただく所存でございます。皆様のご指導、ご鞭撻のほど卒宜しくお願い申し上げます。



思い出の
アルバム

38
回生



君の未来は、虹色に輝く







修学旅行

2/14(木)	安川通り	日明港	阪九フェリー	船中泊
2/15(金)	神戸港	新大阪	名古屋	志賀
2/16(土)	スキー教室		長野	パークホテル
2/17(日)	スキー教室			同上
2/18(月)	スキー教室	志賀高原	長野	同上
2/19(火)		小倉	行橋	車中泊







思い出の
アルバム

51
回生





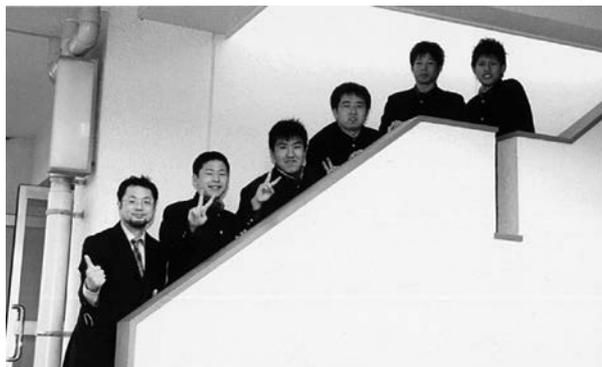
福岡県立京都高等学校同窓会常磐会2018





思い出の
アルバム

63
回生





福岡県立京都高等学校同窓会常磐会2018



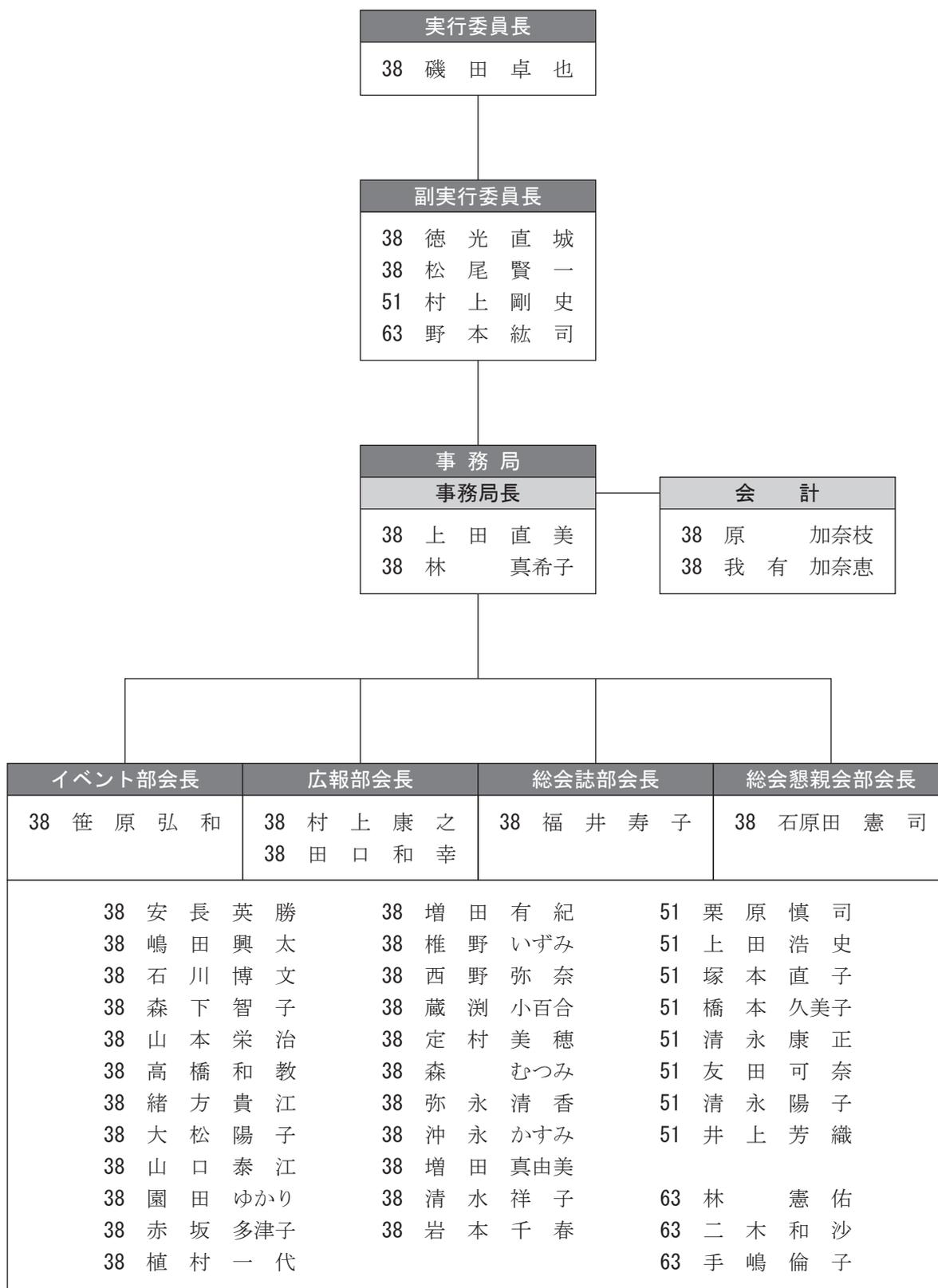


2018年 常磐会総会・協力回生のつどい





2018年度 常磐会総会実行委員会組織図



※数字は回生

2018年度 常磐会総会誌

発行日 2018年9月2日
発行 2018年度
常磐会総会実行委員会
印刷 有限会社 京都印刷

祝 常磐会総会

京都ホテル

Special Plan

お祝い事や法事、各種ご宴会などにご利用ください。

※特別プランのため、30名様までの対応とさせていただきます。



※写真はイメージです。

中華会席

おひとり様
(税・サ別)

5,000円コース

※飲物は別途料金
となります。

※食材の仕入れの都合により、内容が異なる場合がございます。



※写真はイメージです。

洋風会席

おひとり様
(税・サ別)

5,000円コース

※飲物は別途料金
となります。

※食材の仕入れの都合により、内容が異なる場合がございます。

マイクロバスをご利用ください ●お申し込み・お問い合わせはお早めどうぞ



ありがとうございます



心つくして、おもてなし。

京都ホテル

〒824-0008 福岡県行橋市宮市町 9-18

TEL.0930-23-1800 (代)

FAX.0930-25-5290

E-mail miyakoh@circus.ocn.ne.jp

URL <http://www.miyako-hotel.co.jp>

京都ホテル 行橋

検索

クリック

追昔
追昔



福岡県立京都高等女学校同窓会



福岡県立京都高等学校同窓会

〔当番回生〕

昭和 61 年卒業高校 38 回生・昭和 61 年卒業定時 25 回生
平成 11 年卒業高校 51 回生・平成 23 年卒業高校 63 回生